プロジェクトマネジメントをサポートするWEBアプリケーションに

関する研究

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　0842062　工藤　亮

1. 研究背景

ソフトウェア開発はバージョン管理システムを用いて行われるのが一般的である．

バージョン管理システムを提供するサービス(以下，バージョン管理サービス）（括弧の全角半角を揃える）も数多くある．

ソフトウェア開発プロジェクトの中心にバージョン管理システムをおくこともできると思われる．

そのような開発体制においては，PMBOKで提示されているようなマネジメントの活動がバージョン管理サービスでサポートされることが望ましいと思われる．

プロジェクトマネジメント(以下，PM)（この括弧は全角）においてはEVM(Earned Value Management)（左括弧の前に半角スペースを挿入）がプロジェクトの進捗状況や進捗に係わるリスクを把握でき，プロジェクトを計画通りに進行するために，的確な対応を行いやすいため重要だと言われているが、（句読点の統一）既存のバージョン管理サービス上でEVMを見ることはできない（なぜ？　サポートされていないから）．そのため、バージョン管理システムを用いるプロジェクトマネージェーは、PMの計画時のデータと進行中の進捗データを取り出して別に処理することによってEVMを描かなければならない．

そこで、・・・することを目指す。（これが「目的」）

（以下は「手法」）そこで、GitHub(ギットハブ)のIssue(イシュー)を利用する．（改段しない）Issueとは，1つのタスクに1つのIssueを使用することによって，タスクの監視や管理を行うための機能である．

よって（何が「よって」なの？），Issueを利用し，EVMに必要な計画時のデータを加えることによってEVM自動作成機能というシステムを開発する。（句読点の統一）このシステムによってEVMを自動的に作成され，作業の遅延などのリスク・マネジメントやスケジュール管理などのタイム・マネジメントに貢献することができると思われる．

1. 研究目的

本研究の目的として開発するシステムは、GitHubのIssueを利用しEVMの作成に必要なデータのプロジェクトを始める前の計画時の見積もりコスト，そしてEVMには時間を反映したデータが必要だが，今回は時間のかわりにタスクごとで時間管理を代用し，そのデータでプロジェクトの進捗データが明確になり，そのプロジェクト進捗管理データを取り出すサブシステムと、（句読点の統一）それを用いてEVMを描画するサブシステムである．（文が長すぎる）このシステムによってEVMが自動的に作成され，プロジェクトマネージャーがメンバーに報告や指示をすることなくメンバー自身が進捗状況を理解することができ，置かれている状況を各自が把握でき，進捗管理できると思われる．

1. 研究方法

以下の(1)～(4)の方法を記す．

(1)（半角括弧のあとは半角スペース）GitHubについて調査

(2)Issueに作業内容と期限とコストを書いておく

(3)APIでIssueを取得する

(4)IssueからEVMに必要なデータを抽出する

(5)抽出されたデータをもとにEVMを描画する

1. 成果物のイメージ

GitHubの機能のIssueでプロジェクトの進捗管理を行い，そこから抽出したデータをもとにEVM

を自動的に表示することである．

1. 進捗状況

GitHubのAPIについての調査が終わっている．具体的な方法が決まっている．（段落の字下げは全角）（今後の計画も、これに続けて文章で書けばよい。下の3つ、3ヶ月もかけるんですか。）

1. 今後の計画

|  |  |
| --- | --- |
| 10月 | Issueに記入する内容を決めておく，  APIでIssueを取得する |
| 11月 | IssueからEVMに必要なデータを抽出するためのプログラムを作成する |
| 12月 | 抽出されたデータをもとにEVMを描画する |
| 1月 | 論文，発表資料作成 |

参考文献

[1] （半角括弧のあとは半角スペース）PMI：「PMBOK Guide 第4版」，PMI，pp．5-6，2008．

[2]情報処理振興事業協会，EVM活用型プロジェクト・マネジメント導入ガイドライン，市場評価基盤構築事業，pp．2-3，2002．